optimus X

IS11LG

取扱説明書 ’12.04

詳しい操作説明は、IS11LGに搭載されている「取扱説明書アプリ」をご覧ください。

ごあいさつ

このたびは、IS11LGをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』（本書）をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』（本書）を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『取扱説明書』(本書)
『取扱説明書』(本書)では、主な機能の主な操作のみ説明しています。さまざまな機能のより詳しい説明については、au電話本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』またはauホームページより『取扱説明書(詳細版)』をご参照ください。

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 取扱説明書アプリケーション
IS11LGでは、au電話本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。

また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■ 取扱説明書ダウンロード
『取扱説明書』(本書)、『設定ガイド』、『取扱説明書(詳細版)』のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書・抜粋（英語版）』をauホームページに掲載しています（発売約1ヶ月後から）。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

IS11LGをご利用になる前に､本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」で症状をご確認ください。
以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動させると、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- IS11LGはデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- IS11LGは電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、CDMA方式は通信上の高い秘匿機能を備えております。）
- IS11LGは国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- IS11LGは電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査をお受けていただく場合があり、その際にはお使いのIS11LGを一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。

- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入し、電源を入れたときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、発信を控えるのはもちろん、着信音で周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- IS11LGはパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のIS11LGの動作が不安定になったり、お客様の位置情報やIS11LGに登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。

周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

- 航空機内でIS11LGを使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
IS11LGとパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、IS11LGの電源が自動的に入りますので、航空機内では接続しないでください。

同梱品一覧

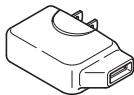
ご使用いただく前に、下記の同梱物がそろっていることをご確認ください。

●IS11LG本体

●電池パック（LGI11UAA）

●microSDメモリカード（2GB）（試供品）

●microUSBケーブル（試供品）

●ACアダプタ（LGI11PQA）

●設定ガイド
●取扱説明書（本書）
●保証書
●ご使用上の注意

以下のものは同梱されません。
●イヤホン

memo

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。
- 本文中で使用している携帯電話などのイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

目次

電話

連絡先

メール

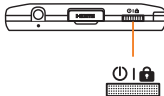
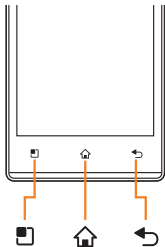
アプリケーション

ファイル管理

機能設定

付録

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について
本書では、キーの図を次のように簡略化していますので、あらかじめご了承ください。

■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面 ▶ [電話] ▶ [1][4][1] ▶ [ ]	ホーム画面下部の「 (電話)」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「 」をタップします。
ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [通知]	ホーム画面で「 」をタップします。続けて「通知」をタップします。

memo

- 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示で、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
- 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- 本書では、ロック解除の方法をロックNo.を入力する方法で表記しています。

・本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。
また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。
各機能のお買い上げ時の設定については、『取扱説明書（詳細版）』をご参照ください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※本製品で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）
沖縄セルラー電話（株）
輸入元：LG Electronics Japan（株）
製造元：LG Electronics Inc.

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ **安全にお使いいただくために必ずお読みください。**

● この「安全上のご注意」には、IS11LGを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

⚠ 危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

⚠ 警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	この表示は「人が傷害※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

● 図記号の意味は以下のとおりです。

記号	意味
禁止	してはいけないこと（禁止）を示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

記号	意味
指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ IS11LG本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

⚠ 危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示　必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

禁止　高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、コタツの中、直射日光のあたる場所、炎天下の車内など）での使用や保管、放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

指示　ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にIS11LGの電源を切り、充電をしている場合は、中止してください。ガスに引火するおそれがあります。

禁止　電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止　火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

金属製のストラップやアクセサリーをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などをあてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

分解禁止

お客様による分解・改造・修理などをしないでください。
故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりIS11LGまたはソフトウェアなどに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

禁止

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

禁止

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

IS11LGが落下などによって破損し、IS11LG内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。

水濡れ禁止

濡れ手禁止

水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグや電池パック、microUSBケーブルを抜いてください。また、身につけている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水濡れや湿気による故障は保証の対象外となり、有償修理となります。

電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

直射日光のあたる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害などの原因となる場合があります。また、テレビアンテナの取り扱いにもご注意ください。

禁止

外部から電源が供給されている状態のIS11LG本体・電池パック・ACアダプタに、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止　コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止　電池フタを外したまま使用しないでください。

禁止　腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

禁止　IS11LG本体から電池パックを外した状態でACアダプタをつながないでください。発火・感電の原因となります。

禁止　本体から電池フタや電池パックを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

指示　長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

指示

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたら使用を中止してください。異常が起きた場合、充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントから抜き、熱くないことを確認してください。その後IS11LGの電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、水に濡れたりなどして破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

指示

イヤホン（市販品）などをIS11LGに挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

指示

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■ IS11LG本体について

⚠ 警告 **必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内では電源をお切りください。IS11LGの電波により、電子機器に影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従って、ご使用ください。IS11LGとパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、IS11LGの電源が自動的に入りますので、航空機内では接続しないでください。

指示 高精度な電子機器の近くではIS11LGの電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器のお近くでIS11LGを使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、IS11LGを心臓ペースメーカーなどの装着部から22cm以上離して携行および使用してください。

2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、IS11LGの電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはIS11LGを持ち込まないでください。
- 病棟内では、IS11LGの電源をお切りください。IS11LGとパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、IS11LGの電源が自動的に入りますので、病棟内では接続しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、IS11LGの電源をお切りください。
4. 医療機関の外で植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

指示　通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、テレビ（ワンセグ）を見たり、音楽を聴いたりするときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

指示　ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師と相談してください。

注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止　自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

夏期に閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないでください。IS11LGが熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなったりIS11LG本体が変形し故障の原因となる場合があります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

■ IS11LGで使用している各部品の材質は以下のとおりです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（ディスプレイ枠部）	PC+GF樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース（側面）	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
電池フタ	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
HDMI端子カバー	PC樹脂・ウレタン	アクリル系UV硬化処理
テレビアンテナ	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
電源キー	アルミニウム合金	陽極処理
音量キー（UP／DOWN）	アルミニウム合金	陽極処理
ディスプレイ	強化ガラス	Easy Cleaning Coating
ディスプレイ飾り	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
受話口	ステンレス鋼	アクリルウレタン系熱硬化処理
アウトカメラレンズ	強化ガラス	なし
カメラレンズ飾り	ステンレス鋼	クロムメッキ処理

人の混雑している場所では使用しないでください。携帯電話が人にあたり、思わぬけがをする場合があります。

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなど磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

接続端子やmicroSDメモリカードスロットなどに液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

イヤホン（市販品）やハンドストラップ、テレビアンテナなどを持って本体を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因になります。

通常はHDMI接続端子カバーを開けたままにしないでください。ほこり・水などが入り、故障の原因となります。

テレビ（ワンセグ）視聴時以外ではテレビアンテナを格納してください。テレビアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり、思わぬけがの原因となります。

指示

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

指示

受話口部やスピーカー部の吸着物にご注意ください。これらの箇所には磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口部などに異物がないかを必ず確かめてください。

禁止

テレビアンテナを伸ばした状態でIS11LGを振り回さないでください。傷害やテレビアンテナの変形・破損の原因となります。

指示

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口・スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったりIS11LG本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

指示

通話・通信中は、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となるおそれがあります。

禁止

ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。

爪先でタッチパネル操作を行わないでください。爪が割れるなど、けがの原因となります。

■ 電池パックについて

IS11LGの電池パックはリチウムイオン電池です。電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。
充電してからお使いください。

⚠ 危険　**誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂などのおそれがあり危険です。必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。**

電池パックのプラス（+）とマイナス（−）をショートさせないでください。

禁止

電池パックをIS11LG本体に接続するときは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず、接続部を十分に確認してから接続してください。

禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

禁止

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピン）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解禁止

お客様による分解・改造・修理やハンダ付けはしないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。

禁止

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックを水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。
誤って水などに落としたときは、直ちにIS11LG本体の電源を切り、電池パックを外してauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックを充電しないでください。

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと、直ちに医師の診断を受けてください。

電池パックをIS11LG本体から取り外すときは、IS11LGのくぼみに指（爪など）を入れ、上方へ持ち上げて外してください。ペンなどの先の細いものを差し込んで外そうとした場合、発火や破損の原因となります。

指示

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。

なお、寿命は使用状態などにより異なります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないように注意ください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。**

禁止

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- ACアダプタ：AC100V ～ 240V

ACアダプタの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電や発熱・発火による火災の原因となります。ACアダプタが傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

ACアダプタの電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・電子回路のショート・火災の原因となります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。
感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や電子回路のショートの原因となります。また、ACアダプタの電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

本書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
発熱・発火・感電・傷害の恐れがありますので、次のことはおこなわないでください。

- 指定のau 携帯電話の電池パック以外の充電
- 家庭用AC100 ～ 240V以外での使用
- 端子をショートさせる
- 分解や改造
- 水などをかけたり濡れた手での使用

⚠注意　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。

ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

IS11LG本体から電池パックを外した状態でACアダプタを差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
本製品で使用している各部品の材質は以下のとおりです。
外装ケース：ポリカーボネート
プラグ部分：ニッケルメッキ

■ au ICカードについて

⚠ 警告 **必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。**

禁止 au ICカードを電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠ 注意 **必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

指示 au ICカードをIS11LGに取り付け・取り外しをするときは、手や指を傷つけないようご注意ください。

指示 au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

分解禁止 au ICカードを分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。内部データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを濡らさないでください。故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分を傷つけないでください。故障の原因となります。

au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au ICカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤飲で窒息したり、傷害などの原因となります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ IS11LG本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

● 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。また、外部接続器を外部接続端子やイヤホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。周囲温度5℃～35℃、周囲湿度35％～85％の範囲内でご使用ください。調査の結果、極端な温度・湿度条件下での使用による故障と判明した場合は、保証の対象外となり、修理ができません。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、掃除の際は強い力を加えて端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ（ワンセグ）視聴中など、ご使用状況によってはIS11LG本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 使用中、IS11LGが高温となった場合、IS11LG本体の保護のため一時的に一部機能を停止することがあります。

- お子様がお使いになる場合は、保護者の方が『取扱説明書』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化･消失するおそれがあります。

■ IS11LG本体について

- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ（ワンセグ）視聴中は、ご使用状況によってはIS11LG本体の一部が温かくなりますので、手や顔などが触れる場合はご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイやキーの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押しつけないでください。傷の発生や破損の原因となります。

- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- 電池フタを外したところに貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様が使用されているIS11LGおよび通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- IS11LGに登録された連絡先・メール・ブックマーク・お客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- IS11LGに保存されたメールやダウンロードしたデータ（有料・無料は問わない）などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

- IS11LGはディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- IS11LGで使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 撮影したフォト／ムービーデータや音楽データなどは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えができないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- IS11LGは不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中は使用しないでください。ハンズフリーキットなどを使用した通話以外の機能（メール、カメラなど）の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。

- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、IS11LG本体が損傷するおそれがあります。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
- IS11LGは、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」がIS11LG本体の銘板シールに表示されております。
- IS11LG本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- テレビ（ワンセグ）視聴中など、テレビアンテナを伸ばしたり、立てた状態で電話に出る場合は、特にテレビアンテナの先端部分が周囲の方々へ危害など及ぼさないよう、またお客様の目に入らないよう取り扱いには十分ご注意ください。

- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、カメラ機能・テレビ（ワンセグ）視聴を繰り返し長時間連続作動させた場合、IS11LG本体の一部が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- IS11LGに磁気を帯びたものや金属製のストラップなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- IS11LGを永久磁石（磁気ネックレス・バッグの留め金など）／家庭電化製品（テレビ、スピーカーなど）の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。IS11LGそのものが磁気を帯びたとき（着磁または帯磁と呼びます）は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材を使用しているストラップは、ディスプレイに触れると傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。

- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、温度が急激に変化するような場所で使用された場合、IS11LG内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- 長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 接続端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のmicroUSBプラグやコネクタが平行になるように抜き差ししてください。
- 接続端子に機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となったIS11LGの回収にご協力ください。auショップなどでIS11LGの回収をおこなっております。

- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 明るさセンサーを指でふさいだり、明るさセンサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に明るさセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーを指でふさいだり、近接センサーの上にシールなどを貼ると、通話時にバックライトがすぐに消灯して、タッチパネルや電源キーが操作できなくなります。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- HDMI端子カバーを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- IS11LGは、防水仕様になっておりません。水をかけないでください。

- ポケットやかばんなどに入れる際は、必ずテレビアンテナを格納してください。また、テレビアンテナを故意に強く引っ張ったり曲げたりしないでください。傷や破損の原因となります。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は1本の指（ピンチ操作の場合のみ2本の指）で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いものや爪や金属などの硬いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイの損傷や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護シートや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- タッチパネルを強く押しすぎたり、濡れた指や汗で湿った指での操作、ディスプレイに水滴が付着または結露している状態では操作しないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。

● ディスプレイ表面が汚れていたり、ほこりなどが付着していると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合がありますので、ご注意ください。

● ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

● 接続端子を綿棒や先の細いもので触らないようにしてください。接続端子は溝形状の金属バネになっているため、端子金属以外のものが挿入されると変形して正常に使用できなくなることがあります。

● 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。

● 長期間使用しない場合には、IS11LG本体から電池パックを外し、ビニール袋などに入れて高温多湿を避けて保管してください。

- 初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使用できる時間が、次第に短くなります。目安として、十分充電しても使用できる時間が購入時の半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 不要な電池パックは通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要になった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 電池パックを交換する際は、必ず指定の方法で行ってください。指定以外の取り外しかたや取り付けかたをしますと、電池パックおよび電池フタが破損する原因となります。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。
- ACアダプタの電源コードをアダプタ本体に巻き付けないでください。感電・発火・火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au ICカードの取り付け、取り外しの際は、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。

- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- au ICカードのIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- au ICカード保管の際には、直射日光があたる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。
- au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んで窒息するなどして、傷害などの原因となります。
- au ICカード以外のカードを本製品に挿入しないでください。au ICカード以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。
- au ICカードの取り付け、取り外しでは、IC（金属）部分に触れないようにご注意ください。

■ カメラ機能について

● カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。

● IS11LGの故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。

● 大切な撮影（結婚式など）をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、また聞き取りやすく録音されているかをご確認ください。

● 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。

● 撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはおやめください。

● 撮影時にレンズに指がかからないようにご注意ください。

● カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ（ワンセグ）機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ（ワンセグ）を視聴しないでください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られるため、交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホン（市販品）などからの音漏れにご注意ください。
- 雨の中や水に濡れるような場所では使用しないでください。

■ 著作権／肖像権について

● お客様がIS11LGで撮影・録音したデータの複製・改変・編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

● 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の対象となっている画像を転送することはできません。

● 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

IS11LGをご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次のとおりとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	❶ お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ❷ お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の４桁の番号

● ロックNo.

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	なし

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、IS11LGには次のような機能が用意されています。

機能	説明
画面ロック	起動時や画面ロック時に画面ロック解除パターン、画面ロック解除番号、パスワードを設定することにより、データを安全に保護できます。

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「UIMカードロック」(▶P.62)で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、「UIMカードロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「UIM PINの変更」(▶P.62)で新しくPINコードを設定してください。

- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ･PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のためIS11LGが再起動することがあります。
- 「PINコード」は「データの初期化」を行ってもリセットされません。

■ UIMカードロック

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定]

2 [位置情報とセキュリティ] ▶ [UIM カードのロック設定]

3 [UIMカードロック]

■ UIM PINの変更

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定]

2 [位置情報とセキュリティ] ▶ [UIM カードのロック設定]

3 [UIM PINの変更]

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

IS11LGのBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の2.412GHzから2.472GHzまでの周波数を使用します。

2.4FH1/DS4/OF4
▬ ▬ ▬

2.4　：2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/DS/OF　：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。

1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

▬ ▬ ▬　：2.412GHz～2.472GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth® についてのお願い

- IS11LGのBluetooth®機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

- Bluetooth®や無線LAN（Wi-Fi®）機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

● Bluetooth®ご使用上の注意

IS11LGのBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS11LGを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11LGと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11LGの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発信を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

無線LAN（Wi-Fi®）についてのお願い

- IS11LGの無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域では無線LAN（Wi-Fi®）機能の使用が制限されます。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品、AV･OA機器などの電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）

- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）のアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。無線LAN（Wi-Fi®）対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合せください。

● 無線LAN（Wi-Fi®）ご使用上の注意

IS11LGの無線LAN（Wi-Fi®）機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS11LGを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11LGと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11LGの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- IS11LGはすべてのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときには、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- Bluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

パケット通信料についてのご注意

- IS11LGは常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。
  このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。
- IS11LGでのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

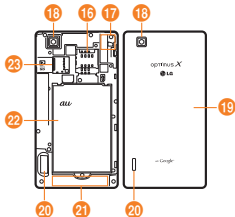
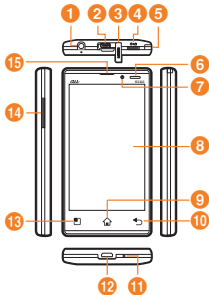
（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。）また、プランEシンプル／プランEにご加入された場合であっても、Eメール（～@ezweb.ne.jp）の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。（「Eメール（～@ezweb.ne.jp）」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。）
※ 無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はパケット通信料はかかりません。

Androidマーケット／au one Market ／アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となることもありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様本人または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- IS11LGに搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないとご利用できない場合があります。
- アプリケーションによっては、動作中にスリープモードに移行しなくなる場合や、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなる場合があります。

各部の名称と機能

各部の名称

❶ **イヤホン端子**

❷ **HDMI端子**

HDMIケーブル（市販品）の接続時に使用します。

❸ **HDMI端子カバー**

❹ 電源キー
スリープモードの移行／解除に使用します。
を長押しすると、マナーモードや機内モードの設定／解除、電源ON ／ OFFを行えます。

❺ テレビアンテナ
テレビ（ワンセグ）を視聴するときに伸ばして使用します。通話時やブラウザご利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。

❻ 近接センサー／明るさセンサー
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
明るさセンサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。

❼ インカメラ（レンズ部）

❽ ディスプレイ（タッチパネル）

❾ ホームキー
ホーム画面を表示します。

❿ 戻るキー
1つ前の画面に戻ります。

⓫ 送話口（マイク）
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中やムービー録画中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。

⓬ 外部接続端子
ACアダプタなどの接続時に使用します。

⓭ メニューキー
オプションメニューを表示します。

⓮ 音量キー（UP ／ DOWN）
音量を調節します。

⓯ 受話口（レシーバー）
通話中の相手の方の声、留守番電話の再生音などが聞こえます。

⓰ au ICカードスロット

⑰ **内蔵アンテナ部（Wi-Fi®、Bluetooth®、GPS）**
Wi-Fi®、Bluetooth®機能、GPS利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。

⑱ **アウトカメラ（レンズ部）**

⑲ **電池フタ**

⑳ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。

㉑ **内蔵アンテナ部（通話、インターネット）**
通話時、インターネット利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなります。

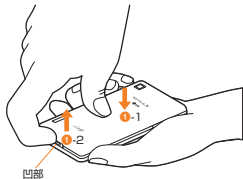
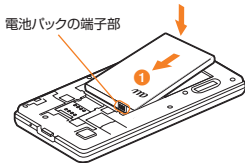
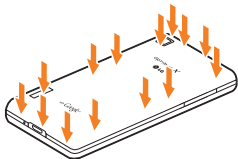
㉒ **電池パック**

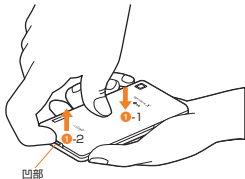
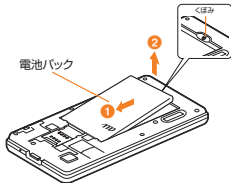
㉓ **microSDメモリカードスロット**

電池パックを取り付ける／取り外す

- 電池パックと電池フタの取り付け／取り外しは、IS11LG本体の電源を切ってから行ってください。
- IS11LG専用の電池パック（LGI11UAA）をご利用ください。

電池パックを取り付ける

1 本体下部にある凹部に指（爪など）をかけ、矢印（❶-1）の方向に押さえながら矢印（❶-2）の方向に持ち上げて電池フタを取り外す

2 電池パックはauロゴがある面を上にして、IS11LGの接続部と電池パックの端子部を合わせて矢印（❶）の方向へ挿入する

3 電池フタの向きを確認して本体に合わせるように装着し、ツメ部分を１つずつしっかりと押して閉じる

電池パックを取り外す

1 本体下部にある凹部に指（爪など）をかけ、矢印（❶-1）の方向に押さえながら矢印（❶-2）の方向に持ち上げて電池フタを取り外す

2 本体のくぼみに指（爪など）をかけ、電池パックを矢印（❶）の方向に押しながら、矢印（❷）の方向に持ち上げて取り外す

※ 電池パックを取り外すときは、くぼみから上に持ち上げてください。くぼみ以外の方向から持ち上げようとすると、本体または電池パックの端子部を破損するおそれがあります。

au ICカードを利用する

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

memo

au IC カードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。

- au ICカードのIC（金属）部分や、IS11LG本体のICカード用端子には触れないでください。
- au ICカード挿入時は、正しい挿入方向をご確認ください。

・au IC カードは、電源を切り、電池パックを取り外してから、取り外し・取り付けを行ってください。
取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au IC カード以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
au IC カードが挿入されていない、もしくはau IC カード以外のカードを挿入し電源を入れた場合は、次の操作を行うことができません。

- 電話をかける※／受ける
- Eメール（～@ezweb.ne.jp）／SMS（Cメール）の送受信
- 自局電話番号／Eメールアドレスの確認
- UIMカードロック設定

※ 110番（警察）・119番（消防機関）・118番（海上保安本部）への緊急通報も発信できません。

■ PINコードによる制限設定

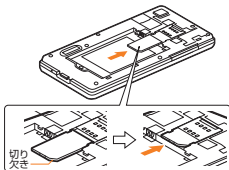
au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。
（▶P.61「PINコードについて」）

au ICカードを取り付ける

au ICカードは、電源を切り電池パックを取り外してから、取り付けを行います。

1 電池フタを取り外す

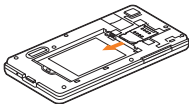
2 電池パックを取り外す

3 au ICカードのIC（金属）面を下にして図の向きでau ICカードスロットに差し込む

au ICカードを取り外す

au ICカードは、電源を切り電池パックを取り外してから、取り外しを行います。

1 電池フタを取り外す

2 電池パックを取り外す

3 au ICカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったときは、充電してからお使いください。
ご利用可能時間は、次のとおりです。

連続待受時間※	約250時間（3G使用時） 約160時間（3GおよびWi-Fi®機能使用時）
連続通話時間※	約500分

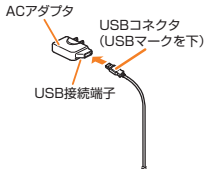
※ 日本国内でご利用の場合の時間です。使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。

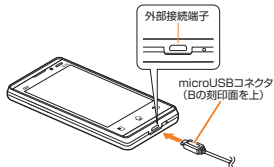
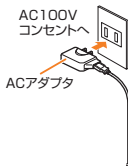
memo

- 充電中、IS11LGと電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。（充電しながら、カメラの起動や通信を行うと、電池パックの温度が高くなります。）
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- ACアダプタを接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタを接続して充電する方法を説明します。
充電時間は、約160分です。

1 付属のmicroUSBケーブルのUSBコネクタをACアダプタのUSB接続端子に差し込む

2 microUSBケーブルのmicroUSBコネクタをIS11LGの外部接続端子に差し込む

- microUSBケーブルは、「B」の刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。

3 ACアダプタの電源プラグを電源コンセントに差し込む

画面上部のステータスバー（▶ P.91）に [icon] が表示され、充電が開始されます。充電が完了するとステータスバーに [icon] が表示されます。

4 充電が終わったらIS11LGの外部接続端子からmicroUSBケーブルのmicroUSBコネクタをまっすぐ引き抜く

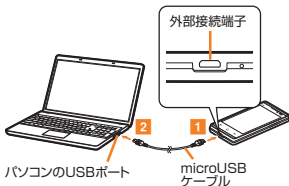
5 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

が表示されない場合

- 画面上部のステータスバーに が表示されるまでしばらくお待ちください。しばらく待っても表示されないときは接触不良が考えられます。ACアダプタが確実に接続されているかご確認ください。それでも表示されない場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

パソコンを使って充電する

1 microUSBケーブルのmicroUSBコネクタをIS11LGの外部接続端子に差し込む

2 microUSBケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

memo

- IS11LGの電源を入れたままでも充電できます。
- USB充電を行った場合、ACアダプタでの充電と比べて、時間が長くかかる場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 （2秒以上長押し）
ロック解除画面が表示されます。
下端から上方向にスライドすると、ロックが解除されます。

memo

- 電源を入れてから「au」のロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

電源を切る

1 （2秒以上長押し）
携帯電話オプション画面が表示されます。

2 [電源を切る] ▶ [OK]

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて電源を入れたときやau ICカードを差し替えたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。
- 「スキップ」をタップすると該当の設定を省略できます。

1 （2秒以上長押し）

2 「続ける」

3 言語を選択する

4 日付と時刻の設定をして、「次へ」

5 Wi-Fi®が使用できないときにモバイルネットワークを使用するかの設定をして、「次へ」

6 Wi-Fi®の設定（▶P.87）をして、「次へ」

- Wi-Fi®について詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

7 紛失端末対応の設定画面が表示され、［次へ］

8 Googleアカウントの設定で、「次へ」

- Googleアカウントの追加画面が表示されます。Googleアカウントのセットアップについて詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参考ください。
- 文字入力方法について詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参考ください。

9 ［セットアップを完了］

10 ソフトウェア更新画面が表示され、［OK］

Wi-Fi® ネットワークに接続する

1 **ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］**

Wi-Fi 設定画面が表示されます。
Wi-Fi® が起動している場合、接続可能なアクセスポイントがWi-Fiネットワーク欄に表示されます。

2 **アクセスポイントを選択**

3 **パスワードを入力 ▶［接続］**

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

memo

- アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- お使いの環境によっては、通信速度の低下やご利用になれない場合があります。

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。

Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

初期設定について詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

au one-IDを設定する

au one-IDを設定すると、au one MarketやAndroidマーケットに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

au one-IDの設定画面は、アプリケーション画面で[au one-ID設定]をタップすると表示されます。

初期設定について詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

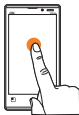
タッチパネルの使い方

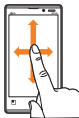
IS11LGのディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

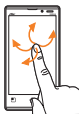
■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また､2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

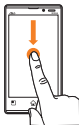
■ ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。

■ スライド

画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ フリック

画面を指で素早く上下左右にはらうように操作します。

■ ピンチ

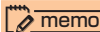
2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト)、閉じたり（ピンチイン）します。

■ ドラッグ
画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にフリックすると切り替えることができます。

❶ ステータスバー
❷ クイック検索ボックス
❸ ショートカット／ウィジェット／フォルダ
❹ クイックメニュー
❺ デスクトップ
❻ アプリアイコン
メインメニューが開きます。

アプリケーションを起動する

メインメニューでアプリアイコンをタップすると、アプリケーションが起動します。

memo

- アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

IS11LGの状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側にはIS11LGの状態を表すステータスアイコンが表示されます。
また、ステータスバーを下方向にスライドすると通知パネルが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり（Eメール）
	新着メールあり（Gmail）
	新着SMS（Cメール）あり
	カレンダーの予定通知あり
	音楽再生中
	USBデバッグ接続中
	発信中、通話中
	応答保留中
	USB接続中
	データ、アプリケーションのダウンロード中
	インストール完了

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
	電池レベル状態
	機内モード
	電波の強さ（受信電界）※
3G	3Gデータ通信状態※
1x	CDMA 1Xデータ通信状態※
	通常マナー
	スピーカー
	ミュート
	Wi-Fi®の電波の強さ
	Bluetooth®利用中
	GPS 利用中

※ Googleアカウントでログインしている場合は、緑色で表示されます。

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときに、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認したり、対応するアプリケーションを起動したりできます。

1 ステータスバーを下方向にスライド

❶ **マナー**
マナーモードのオン／オフを切り替えます。ロングタッチすると、サウンド画面が表示されます。

❷ **Wi-Fi**
Wi-Fi®機能のオン／オフを切り替えます。ロングタッチすると、Wi-Fi設定画面が表示されます。

❸ **Bluetooth**
Bluetooth®機能のオン／オフを切り替えます。ロングタッチすると、Bluetooth設定画面が表示されます。

❹ **GPS**
GPS機能のオン／オフを切り替えます。ロングタッチすると、現在地情報とセキュリティ画面が表示されます。

❺ **自動回転**
自動回転のオン／オフを切り替えます。ロングタッチすると、画面設定画面が表示されます。

❻ **ミュージック**
「音楽」が起動します。ミュージックを選択すると、再生できます。

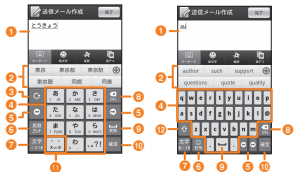
❼ **消去**
通知情報と通知アイコンを消去します。

❽ **実行中アプリケーション**
実行中のアプリケーションの情報を表示します。

❾ **通知情報**
通知情報の詳細を表示します。

❿ **閉じる**
タップすると通知パネルを閉じます。

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などに表示される文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

《文字入力画面（テンキー）》　《文字入力画面（QWERTY キー）》

❶ 文字入力エリア

❷ 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト

❸ バックキー／戻すキー

❹ ソフトウェアキーボード
各キーに割り当てられた文字を入力できます。

❺ カーソルキー
カーソルを左／右に移動します。

❻ 記号・顔文字キー／英数・カナキー

❼ 文字種切替キー
入力する文字種を切り替えます。

❽ DEL キー
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。

❾ 変換キー／スペースキー

❿ 確定キー／ Enter キー

⓫ 大文字／小文字切替キー

⓬ シフトキー
大文字／小文字入力を切り替えます。

ソフトウェアキーボードを切り替える

IS11LGでは、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

テンキー	文字入力キーをタップするたびに文字を切り替え、文字を入力します。
フルキー（QWERTY）	文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。ローマ字で文字を入力します。

1 **文字入力画面 ▶［ 文字 ］をロングタッチ ▶［テンキー⇔フルキー］**

memo

- お買い上げ時には、入力ソフトとして「iWnn IME」がインストールされています。詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
- 入力文字種は、［ 文字 ］をタップして切り替えます。タップするたびに、「ひらがな漢字入力」→「半角英字入力」→「半角数字入力」→「音声入力」の順に切り替わります。
- iWnn IMEでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定するには、ホーム画面 ▶［ ］▶［設定］▶［言語とキーボード］▶［iWnn IME設定］と操作します。

テンキーキーボードで入力する

キーを繰り返しタップするか、上下左右にフリックすることで、入力したい文字を入力できます。

フルキー（QWERTY）キーボードで入力する

入力したい文字の文字入力キーをタップします。「ひらがな漢字入力」の場合は、ローマ字入力になります。

電話をかける

1 ホーム画面 ▶ [電話]

電話番号入力画面が表示されます。

❶ 画面切り替えタブ ❷ 電話番号入力欄
❸ 数字キー ❹ SMS(Cメール)キー
❺ 削除キー ❻ 発信キー

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [ ]

通話中画面が表示されます。
通話中に音量キー（UP／DOWN）を押すと、通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。

4 [終了]

連絡先に未登録の電話番号との通話終了後は、連絡先に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

memo

- 発信中／通話中に近接センサーをおおうと、画面が消灯します。
- 「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
- 送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）、お客さまセンター（157）へは電話をかけることができます。また、緊急通報番号（110、119、118）、お客さまセンター（157）へ電話をかけると「機内モード」の設定が解除されます。

auau電話からご利用いただけるダイヤルサービス

- 次のダイヤルサービスがご利用いただけます。
  - 全国の一般電話との通話
  - 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
  - 010（au国際電話サービス：お申し込みは不要です）
  - 171（災害用伝言ダイヤル）
  - 177（天気予報：市外局番が必要です）
  - 117（時報）
  - 104（電話番号案内）
  - 115（電報の発信）
  - 110（警察への緊急通報）※
  - 119（消防機関への緊急通報）※

- 118（海上保安本部への緊急通報）※
- 157（お客さまセンター）
- 船舶電話

※ 緊急通報番号です。IS11LGは、緊急通報受理機関への緊急通報の際、基地局の信号により、お客様の現在地が緊急通報先に通知されます。

- 次のNTTサービスはご利用いただけません。
  - コレクトコール
  - 伝言ダイヤル
  - ダイヤルQ2
  - 116（NTT営業案内）

履歴を利用して電話をかける

1 ホーム画面 ▶ ［電話］

電話番号入力画面が表示されます。

2 ［通話履歴］

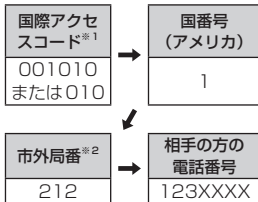
3 電話をかけたい相手の［ ］

国際電話を利用する（au国際電話サービス）

IS11LGからは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：IS11LGからアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面で国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力 ▶ [ ]

電話番号入力画面 ▶［ ］▶［国際電話］で相手先の国名を選択して国際電話をかけることもできます。

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

memo

- au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常どおりご利用いただけます。
- 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
- au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
  au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
  一般電話から フリーコール 0077-7-111（通話料無料）
  受付時間9：00～20：00（年中無休）

電話を受ける

1 着信中に[ ]を右へスライド

バックライト点灯中（ロック解除画面表示中を除く）に着信があった場合は、[ ]をタップします

2 通話 ▶［終了］

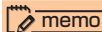
連絡先に未登録の電話番号との通話終了後は、連絡先に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、画面に電話番号が表示されます。電話番号と名前が連絡先に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、画面に理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」

※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

着信時に着信音を消音にするには

- 着信中に や音量キー（UP／DOWN）を押すと、着信音が消音になり、バイブレータが停止します。

他の機能をご利用中に着信した場合は

- 連絡先やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。
- ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [デバイスの状態]

ステータス画面が表示され、電話番号欄に電話番号が表示されます。

連絡先を登録する

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [連絡先]

連絡先一覧画面が表示されます。

2 [ ] ▶ [連絡先を新規登録]

連絡先編集画面が表示されます。

アカウントを設定している場合、登録先を選択する画面が表示されます。登録先を選択してください。

3 必要に応じて各項目を入力する

名前や電話番号、メールアドレスなどが入力できます。

4 [保存]

連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

事故や故障が原因で連絡先の内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Eメールを利用する

Eメール（～@ezweb.ne.jp）は、Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、フォトやムービーなどのデータを送ることができます。

memo

- Eメールを利用するにはIS NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- Eメールアプリを利用するには、パケット通信接続が必要です。また、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

SMS（Cメール）を利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報）を利用することができるアプリです。

1 ホーム画面 ▶ ［アプリ］ ▶ ［au災害対策］

au災害対策メニューが表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度６弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がIS NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方の他、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。

詳しくは、auホームページの、「災害用伝言板サービス」をご覧ください。

1 au災害対策メニュー ▶ ［災害用伝言板］

画面に従って、登録／確認を行ってください。

memo

- 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、Eメールアドレスを設定しておいてください。Eメールアドレスの設定について、詳しくは同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
- Wi-Fi® 接続中は利用できません。
- 安否情報のお知らせメール機能は2012年春以降の提供開始予定です。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、緊急地震速報や災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

※ 2012年春以降、緊急速報メールとして「災害・避難情報」の提供を開始する予定です。詳細はauホームページでお知らせします。

お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害·避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。

1 au災害対策メニュー ▶ ［緊急速報メール］

受信ボックスが表示されます。

確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	**緊急地震速報**：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。
		災害・避難情報：災害・避難情報を受信するかどうかを設定します。

設定	通知設定	**音量**：受信音の音量を設定します。
		バイブ：受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。
		マナー時の鳴動：マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	受信音／バイブ確認	**緊急地震速報**：受信音やバイブレータの動作を確認します。
		災害・避難情報：受信音やバイブレータの動作を確認します。

- 緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
- 緊急地震速報とは、最大震度５弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度４以上）が予測される地域をお知らせするものです。
- 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。

- 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
- 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
- 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
- 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- 気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
  http://www.jma.go.jp/
- 通話中は、緊急速報メールを受信できません。また、ＳＭＳ（Ｃメール）／Ｅメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中は、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- 電源を切っていたり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。

- テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
- お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

アプリケーション

アプリケーションを起動する

1 ホーム画面で「アプリ」

2 アイコンをタップ

タップしたアイコンのアプリケーションが起動します。

主なアプリケーション

プリインストールされている主なアプリケーションは以下のとおりです。

アイコン	アプリ名	概要
	au one Market	auがおすすめするAndroidアプリをインストールできます。
	au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。
	Skype	音声通話や、インスタントメッセージ（チャット）ができます。

アイコン	アプリ名	概要
	Friends Note	ケータイ電話のアドレス帳とFacebookやmixiなど複数のソーシャル・ネットワーキング・サービスの友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。
	Facebook	Facebookを利用できます。
	LISMO Player	音楽を再生したり、再生中の音楽に関する情報を調べることができます。
	au one	au one ポータルサイトに接続します。

アイコン	アプリ名	概要
	GREE マーケット	au one GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。
	LISMO Book Store	コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。

アイコン	アプリ名	概要
	ニュースEX	最新のニュース・天気・占いなどの情報を確認することができます。
	3LM Security	IS11LGを盗難・紛失された場合に、IS11LGを遠隔操作でロックすることができます。
	リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のIS11LGの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。

アイコン	アプリ名	概要
	ウイルスバスター	不正アプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできるアプリです。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード（microSDHCメモリカードを含む）をIS11LG本体にセットして、データを保存することができます。また、連絡先、メール、ブックマークなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、IS11LGでは正常に使用できない場合があります。以下の操作を行いIS11LGで初期化してください。
  ホーム画面 ▶ [▣] ▶ [設定] ▶ [ストレージ] ▶ [SDカードのマウント解除] ▶ [OK] ▶ [SDカードのデータを消去] ▶ [SDカードのデータを消去] ▶ [実行する]
- 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えてもIS11LGで再生できない場合があります。

<IS11LGの記録内容の控え作成のお願い>

- ご自分でIS11LGに登録された内容や、外部からIS11LGに受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※をお取りください。IS11LGのメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消失したり変化したりすることがあります。

  ※ 控え作成の手段

  連絡先などの文字情報やダウンロードした辞書は、microSDメモリカードにバックアップすることをおすすめします。

  メール添付を利用してデータを個別にパソコンに転送することもできます。

  ただし「著作権が有効なデータ」など、上記の手段でも控えが作成できないものがあります。あらかじめご了承ください。

■ 取扱上のご注意

- データの読み込み中、書き込み中、再生中、保存中などに、電池パックを取り外したり、IS11LG本体や機器の電源を切ったりしないでください。IS11LG本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが壊れる、または消去されることがあります。
- microSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる、または消去されることがあります。
- microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- IS11LGにmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次のとおりになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせください。

<microSD ／ microSDHCメモリカード>

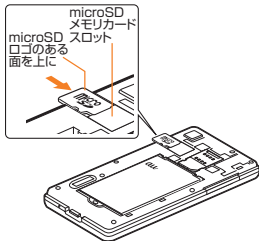
発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
東芝	○	-	○	○	○
Panasonic	○	○	○	-	-
Lexar	○	○	○	○	-

発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
Transcend	-	-	○	○	-
ELECOM	-	○	-	-	-
ソニー	-	○	○	-	-
IO-DATA	○	-	-	-	-

○：動作確認済み
-：未確認または未発売
2011年11月現在
※ 4GB以上は、microSDHCメモリカードの対応状況です。
※ IS11LGでは、2011年11月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせください。

microSDメモリカードを取り付ける

1 電池フタを取り外す

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、まっすぐにゆっくり差し込む

3 電池フタを装着する

memo

- microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
  無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 ホーム画面で［ ］▶［設定］▶［ストレージ］▶［SDカードのマウント解除］▶［OK］

2 電池フタを取り外す

3 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

4 電池フタを装着する

memo

- microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

設定メニューを表示する

1 ホーム画面 ▶ [▣] ▶ [設定]

■ 設定メニュー項目一覧

無線とネットワーク	機内モード、無線LAN（Wi-Fi®）、Bluetooth®、モバイルネットワーク設定など、通信に関する設定を行います。
通話設定	留守番電話、着信転送などネットワークサービスを設定します。
サウンド	マナーモードの設定、着信音、通知音、操作音、バイブレータ（振動）、メディア再生音量などを変更できます。
表示	アニメーション表示、画面の向き（縦横表示の切り替え）、バックライト点灯時間など、画面表示に関する設定を行います。
ジェスチャー	モーションジェスチャー、センサーの調整など、ジェスチャー動作に関する設定を行います。
位置情報とセキュリティ	GPS機能のオン／オフなどの位置情報に関する設定や、画面ロックの設定などのセキュリティに関する設定を行います。

アプリケーション	アプリケーションのインストールや起動に関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションの管理をします。
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。
プライバシー	データのバックアップや復元、初期化を行います。
ストレージ	microSDメモリカードや本体内のメモリ容量を確認したり、microSDメモリカードの初期化を設定します。

言語とキーボード	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。
音声入出力	Google音声認識を設定したり、テキスト読み上げの設定をします。
ユーザー補助	通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスを設定します。
外部接続	外部機器と接続するための設定を行います。
日付と時刻	日付と時刻の表示形式の設定などをします。
デバイス情報	電話番号や電波状態などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。

付録

周辺機器のご紹介

■ 電池パック（LGI11UAA）
■ ACアダプタ（LGI11PQA）※1
■ auキャリングケースFブラック（0105FCA）※2
■ microUSBケーブル01（0301HVA）※2
■ microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）※2
■ microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）※2
■ microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）※2
■ microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）※2

※1 IS11LGでご使用になる場合は、microUSBケーブルと接続する必要があります。
※2 別売品です。

memo

- 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- 本製品は、ASYNC／FAX通信は非対応です。
- 周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
  パソコンから：
  http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.80
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.75
	を長押ししていますか？	P.85
充電ができない	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.75
	ACアダプタのプラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	P.81
電池の使用時間が短い	（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	－
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.53
タッチパネルで意図したとおりに操作できない	手袋などをしたままで操作していませんか？	P.89
	爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？	P.89

こんなときは	ご確認ください	参照
キー／タッチパネルの操作ができない	画面ロックが設定されていませんか？	P.60
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.85
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	IS11LGに大量のデータが保存されているときや、IS11LGとmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	－
au ICカード（UIM）エラーと表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.79
電話がかけられない	au ICカードが挿入されていますか？	P.79
	電話番号が間違っていませんか？ （市外局番から入力していますか？）	P.98
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.91
	サービスエリア外にいませんか？	P.91

こんなときは	ご確認ください	参照
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.98
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.72
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.119
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.116

さらに詳しい内容については、お客さまセンターにお問い合わせください。
一般電話からは
フリーコール0077-7-111（通話料無料）
au電話からは
局番なしの157（通話料無料）

ソフトウェアを更新する

ご利用上の注意

- パケット通信を利用してIS11LGからインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、IS11LGをより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なIS11LGをご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所ではソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、IS11LGに登録された各種データ（連絡先、メール、フォト、楽曲データなど）や設定情報は変更されません。
  ただし、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。
  また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。

- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

ソフトウェア更新中は、以下のことは行わないでください。

- ソフトウェア更新中に電池パックを取り外さないでください。電池パックを取り外すとソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新中は移動しないでください。

ソフトウェア更新中にできない動作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェア更新が実行できない場合などについて

- ソフトウェア更新に失敗すると、IS11LGが使用できなくなる場合があります。IS11LGが使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

1 ホーム画面 ▶ [■] ▶ [設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [ソフトウェア更新] ▶ [アップデートを確認]

新しいソフトウェアがあるか確認します。
ソフトウェアを更新できる場合はソフトウェア更新画面が表示されます。

2 通信方式を選択

ソフトウェアのダウンロードに利用する通信方式を選択します。

3 [ダウンロード]

新しいソフトウェアのダウンロードが開始されます。

4 [インストールする]

ソフトウェアの更新が開始されます。
ソフトウェア更新中はIS11LGの再起動を1、2回ほど行います。

5 [OK]

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 電池パックは無償修理保証の対象外です。

memo

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのIS11LG本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名､お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています（月額315円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

アフターサービスの内容変更を予定しております｡詳細については､auホームページでお知らせいたします。

memo

- ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難・故障・操作方法について）

一般電話からは

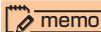
フリーコール 0077-7-113（通話料無料）

au電話からは

局番なしの113（通話料無料）

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
①保証サービス 注：保証内の場合、無償修理	5年保証サービス	3年保証サービス
②修理代金割引サービス 注：水濡れ・全損時以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引（無料）	お客様負担額5,250円（税込）
③水濡れ・全損時リニューアルサービス 注：水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額5,250円（税込）	お客様負担額10,500円（税込）
④紛失時あんしんサービス	新しいau電話購入代金 最大18,900円（税込） OFF	新しいau電話購入代金 最大6,300円（税込） OFF

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
⑤電池パック無料サービス	同一au電話を１年以上（または３年以上）継続利用することで電池パックを１個プレゼント	なし
⑥無事故ポイントバック	同一au電話を継続利用で、１年間無事故の場合、auポイント1,000ポイントプレゼント	なし

memo

修理代金割引サービス

- 水濡れ・全損はこの対象とはなりません。
- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ・全損時リニューアルサービス

- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

- 「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失・盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。
- お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

- ご購入から同一のau電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。(合計2回まで)
- 電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年～2年までの間、3年～4年までの間の計2回(各1個の提供)となります。

無事故ポイントバック

- 「修理代金割引サービス」「水濡れ・全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1,000ポイント進呈します。
  ※ 1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

主な仕様

■ IS11LG

項目		仕様
ディスプレイ		約4.0インチ、最大1677万色、IPS液晶 800×480ドット（WVGA）
質量		約130 g（電池パック含む）
サイズ（幅×高さ×厚さ）		約64mm×118mm×9.9mm（最厚部10.2mm）
連続通話時間		約500分
連続待受時間		約250時間（3G使用時） 約160時間（3GおよびWi-Fi® 機能使用時）
充電時間		約160分
カメラ（アウトカメラ）	撮影素子	CMOS
	有効画素数	約800万画素
	デジタルズーム	最大約8倍（15段階）
カメラ（インカメラ）	撮影素子	CMOS
	有効画素数	約30万画素

メモリ（保存可能領域）		約2.5GB
無線LAN		IEEE 802.11 b/g/n準拠
Bluetooth® 機能	通信方式	Bluetooth® 標準規格Ver.3.0
	出力	Bluetooth® 標準規格Power Class2
	通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
	対応Bluetooth® プロファイル※2	HSP (Headset Profile) HFP (Hands-Free Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) OPP (Object Push Profile) PBAP (Phone Book Access Profile)
	使用周波数帯	2.4GHz帯（2.412GHz ～ 2.472GHz）

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※2 Bluetooth® 機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth® 標準規格で定められています。

■ AC アダプタ（LGI11PQA）

入力	AC100 ～ 240V、50/60Hz
出力	DC 4.8V、1.0A
寸法（幅×高さ×厚さ）	約73mm × 27mm × 56mm
周囲温度	5℃～ 35℃
周囲湿度	35%～ 85%

■ 電池パック（LGI11UAA）

電池種類	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1500mAh
外形寸法（幅×高さ×厚さ）	約44mm×65mm×4.8mm
重量	約32g

・連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率について

この機種【IS11LG】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.774W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI 推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）

を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/
○LG Electronics Inc.のホームページ:
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp

※１技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第１４条の２）で規定されています。

※２携帯電話機本体を側頭部以外でご利用になる場合のＳＡＲの測定法については、２０１０年３月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です（２０１１年３月現在）。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in

a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.51 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.40 W/kg.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID ZNFIS11LG. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSD、microSDHCは、SDアソシエーションの商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG. Inc.が所有する登録商標であり、LG Electronics Inc.は、これら商標を使用する許可を受けています。

- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- GoogleおよびGoogle ロゴ、AndroidおよびAndroidロゴ、Androidマーケットおよび Android マーケット ロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
- (C) Gracenote, Inc. 2012-present
- Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
  詳細については、次のWebサイトをご覧ください:
  http://www.gracenote.com/
  GracenoteからのCDおよび音楽関連データ:
  Copyright© 2000 - present Gracenote.
  Gracenote Software:
  Copyright© 2000 - present Gracenote.
  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります:
  #5,987,525、#6,061,680、

#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。
一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,Inc.から提供されました。
GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:
http://www.gracenote.com/corporate/

- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Copyright (C) 2010-2011 Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

OpenSSL License

【OpenSSL License】
Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF

SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA,L.L.C.にお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符

号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenoteソフトウェアや Gracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。

Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行

使できることに同意するものとします。
Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、GracenoteのサービスにビスするGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。
GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenoteソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

お客様各位

このたびは、IS11LGをご買い上げいただき、誠にありがとうございました。
IS11LG取扱説明書の記載内容に誤りがございましたのでお詫び申し上げますとともに、以下の内容を訂正させていただきます。

■au ICカードを利用する／■au ICカードが挿入されていない場合（P.78）

誤：

au ICカード以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
au ICカードが挿入されていない、もしくはお客様のau ICカード以外のカードを挿入し電源を入れた場合は、次の操作を行うことができません。

正：

au ICカード以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
au ICカードが挿入されていない、もしくはau ICカード以外のカードを挿入し電源を入れた場合は、次の操作を行うことができません。

■microSD メモリカードを利用する／■取扱上のご注意（P.119）

誤：

発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
Transcend	-	-	○	○	-
ELECOM	-	○	-	-	-
ソニー	-	○	○	-	-
IODATA	○	-	-	-	-

正：

発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
Transcend	-	-	○	○	-
ELECOM	-	○	-	-	-
ソニー	-	○	○	-	-
IO-DATA	○	-	-	-	-

以上

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。みなさまのご協力をお願いいたします。

新しいケータイを買った!!

使い終わったケータイと取扱説明書は大切な資源。リサイクル回収に出そう！

古いケータイと取説どーしよう？

1

回収しています

auショップへ持って行こう！

リサイクルお願いしま～す！

使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

2

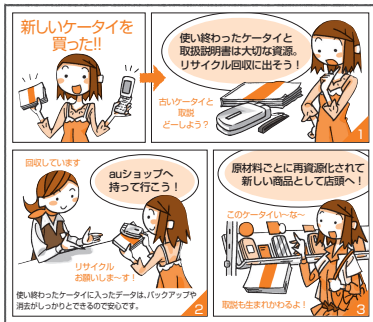
原材料ごとに再資源化されて新しい商品として店頭へ！

このケータイい～な～

取説も生まれかわるよ！

3

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号　お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-111

au電話からは
局番なしの**157**番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-113

au電話からは
局番なしの**113**番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（通話料無料）

フリーコール **0120-977-033**（沖縄を除く地域）
フリーコール **0120-977-699**（沖縄）

大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています
Printed in Korea(H)

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずこのマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

発売元　KDDI株式会社
　　　　沖縄セルラー電話株式会社
輸入元　LG Electronics Japan株式会社
製造元　LG Electronics Inc.

2012年4月 第3版
MFL67451601